

大樹立



函南町教育委員会 生涯学習課
〒419-0122 函南町上沢 81 函南町文化センター (電話：979-1733 FAX：979-1744)

「第2回チャレンジ大学」を開催

7月18日、文化センター多目的ホールで第2回チャレンジ大学が行われ、101人が参加しました。講師にジオガイドの大坂規久さんを招き、「伊豆半島ジオパーク…動くプレートが造った大地に暮らす」をテーマに学習会が行われ、ジオパークとは何か、また伊豆半島の成り立ちについての説明、伊豆半島が大きなプレートに乗っていること、町内9か所のジオポイントや近隣にも多くのジオポイントがあることなどを学びました。

「わいわい塾」流木アートに挑戦

7月20日、文化センター多

目的ホールでわいわい塾ものづくり教室が行われました。講師に土屋比香理さんを招き、多肉植物を使った流木アートに挑戦しました。

子どもたちはお気に入りの流木を選び、流木と土や木の感触を楽しみながら作品を作りました。



▲流木アートをつくる参加者

「親子ふれあい映画会」を開催

7月27日、文化センター大ホールで親子ふれあい映画会を行いました。同映画会は子どもたちに感動を与

え、親子で感想などを話し合うことにより、家庭での親子のふれあいの促進を図ることを目的に毎年実施されているものです。

今回は「ボス・ベイビー」を午前と午後の部に分けて上映し、合わせて194人が参加しました。参加者からは「子どもと一緒に楽しめる作品で良かった。子どもが見ても大人が見ても面白い内容だった。また見に行きたい」、「子どもが映画館に行く練習ができてよかった」、「夏休みに予定がなかったので、親子で出かけるよいきっかけになった」などの声が聞こえ、親子や友達と一緒に楽しみました。

社会教育関係団体の紹介「函南町歩こう会」

今回は社会教育関係団体の中から、「函南町歩こう会」の活動をご紹介します。函南町歩こう会は昭和53年に設立され、41年もの歴史を誇ります。現在は約60人の会員で活動をしてお



▲車山の湿原を歩きました

り、年齢層は40歳〜80歳と幅広く、みんな元気に活動しています。令和元年度の活動は、遠くは日帰り京都、近くは山中城跡と月に一回活動しています。7月7日は八ヶ岳の双子池でコケを観察予定でしたが雨のため断念し、代わりに女神湖と車山の湿原で花の観察会をしました。会員同士で和気あいあいと声を掛け合っ楽しく歩くことができました。

函南町歩こう会では会員を募集しています。皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ／函南町歩こう会 佐野 (978-8037)

団体・活動紹介

函南町文化協会

函写楽クラブは、かなみ生涯学習塾の写真教室卒業生を中心として平成8年1月に誕生しました。写真技術の向上、情報交換と会員相互の親睦を目的としており、50〜70代の男女13人で構成されています。毎月一度の例会(原則第2土曜日)には各自の写真を持ち寄ってお互いに評価し合います。また、撮影やコンテストなどの情報交換も行います。作品発表の場は町の文化祭をはじめ、仏の里美術館、湯〜トピアかなみなどです。その他、合同撮影会を年に数回行ったり、有志で随時撮影に出かけたりします。同じ場所で各自が撮った写真を評価し合うことが大変参考と



問合せ／大和 善信 (978-9834)、ホームページ (http://kanshara.sakuraweb.com/)

函写楽クラブ

大和 善信

文芸散歩

生返事ばかりしてゐる帰省の子

無人駅に一人降りたる梅雨の月

夏椿いつしか昇る山の月

茗荷の子摘まれたさうに膨らんで

梅を干す日を待ちわびてをりにけり

花栗の今が盛りと匂ふなり

みつ豆やこれからですと九十歳

梅雨寒し明日の予定のまじまらず

青田風川の流れの音たかし

一年生スキップで待つ夏休み

幼子の寝息に合はす団扇かな

一村の掠はれさうな大夕焼

盲人のきれいに抜きし鮎の骨

朝顔の蕾かぞへて明日を待つ

磯の波磯にほどける五月晴

奥名 春江

犬飼 陽子

大村 百合子

大山 章子

勝山 智恵子

小阪 三奈子

小杉 昌子

杉原 文枝

立林 勝子

林 政敏

平子 かおる

森田 節子

安本 賀津子

山田 静子

鈴木 玉恵

〈風の会〉